



大かたはた

大田区立高畑小学校 学校だより 第739号

9月号 平成30年 9月3日(月)発行 校長 木田喜代美

〒144-0056 西六郷3-28-23

<http://homepage3.nifty.com/ota-takahatasyou/>

ボランティアとは・・・

校長 木田 喜代美

長い休みを経て、成長した子供たちの元気な顔が学校に戻ってきました。今夏は、これまでにない猛暑、“命にかかわる危険な暑さ”が続き、夏季休業中の屋外等での活動を変更・中止をするなど、皆様にも多大なご心配をおかけしました。また、昨夏同様、観測史上かつてないほどの豪雨によって各地で甚大な被害が生じ、改めて自然災害の恐ろしさを実感しました。被害に遭われた方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

各地で自然災害が続く中、全国から被災地に駆けつけ、過酷な暑さにもかかわらず、復旧に向けて黙々と働く大勢のボランティアの姿が連日、報道されています。被災地の状況、被災者の心情に思いを馳せ、自分のできることで被災地を、被災者を助けたい、支えたいという想いがボランティアという行動につながっているのだと思います。

ボランティアといえば、8月に山口県で2歳の男の子が行方不明になりました。警察等の懸命な捜索でも見つからずに安否が心配された中、78歳の男性がこれまでの長いボランティアの経験を活かして男の子を発見し、無事に保護するという嬉しい出来事もありました。必死に生きようとする幼子の強靱な生命力とともに、これまで自分が受けた恩を社会に返したいという強い一心で、見返りを求めることなく全力を尽くすこの男性の姿に多くの人々が深い感銘を受けました。また、男性の姿、言葉から、ボランティアには被災地・被災者に負担をかけることなく、自立・自律の精神が必要であることなど、改めてボランティアのあり方について考えさせられました。被災地に行って手助けをしたいと願っても、自分の置かれた様々な環境・条件から、すぐに行動に移せる人ばかりではありません。大事なことは、被災地・被災者を心に留め、今、自分ができるところに力を注ぐことだと思います。忘れることなく、後世に語り継ぎ、万が一の時のために備えを十分に行うこと、被害を最小限に留める手立てを考えていくことは、私たちにもできることです。そして、ボランティアにおいて何よりも大切なことは、誰かに強いられて行うのではなく、自発的に、自分の意志で行動することです。「誰かのために役に立ちたい」という想い、「お互い様」という互いに助け合い、支え合う気持ち・・・これらの気持ちは、日々の生活の中で、様々な体験やかかわり合いを積み重ねることで育っていくものだと思います。この夏、様々な体験を通して成長した子供たちの心と体をご家庭や地域の皆様とともにさらに豊かに育てていきたいと思っております。二学期も本校へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

※ 「夏休み わくわくスクール」では、今年度も学校支援地域本部のお力を得て、保護者、地域の皆様のご協力のもと多くの講座を開いていただきました。子供たちにとって心に残る貴重な体験ができたことと思います。ありがとうございました。



9月の行事予定

算：算数クラブ (中：中学年 高：高学年)		算
1	土	
2	日	
3	月	始業式、シェイクアウト訓練
4	火	給食始 専科授業始 身体計測(1年)
5	水	学級指導 身体計測(2年)
6	木	水泳記録会(5・6年) 身体計測(3年)
7	金	学校公開 セーフティ教室(4・5・6年) ↑
8	土	学校公開 道徳授業地区公開講座
9	日	
10	月	全校朝会 委員会活動 身体計測(5年) ↑
11	火	安全指導 社会科見学(3年) 水泳記録会予備日
12	水	学級指導 身体計測(6年) あいさつ週間 高
13	木	保護者会(5・6年) 身体計測(4年) 5・6年6校時なし
14	金	保護者会(3・4年) 避難訓練 4年6校時なし ↓
15	土	
16	日	
17	月	敬老の日 夏休み作品展
18	火	全校朝会 大田区漢字検定 保護者会(1・2年) 2年6校時なし
19	水	児童集会 なかよしリーダー会 高
20	木	理科見学(4年)
21	金	
22	土	
23	日	秋分の日
24	月	振替休日
25	火	全校朝会 教育実習始(2-1)
26	水	児童集会 ↑ 六郷中生徒職場体験
27	木	2・3・4年6校時なし
28	金	
29	土	
30	日	

9月の読み聞かせ

7日(金) 2・5年、21日(金) 1・6年、28日(金) 3・4年

家庭科専科の井上早紀教諭が、出産のため二学期からお休みします。後任として諸戸伸恵(もろとのびえ)教諭が、着任しました。よろしくお願いいたします。

避難訓練

生活指導部 黒澤 洋達

1923年9月1日に関東大震災が発生し、そこから「災害への備えを怠らないように」と戒めを込めて9月1日が「防災の日」となりました。また、1982年からは、「防災の日」を含む1週間(8月30日～9月5日まで)が「防災週間」と定められています。今年の夏は猛暑日が続き、外での活動が危険となる日もあり、また気候が不安定で、各地で猛烈な雨が降りました。それに伴い河川の氾濫や土砂崩れなどの大きな災害が起きた場所もありました。

災害が起こった際には「自分の身は自分で守る」という自助や「自分たちの町は自分たちで守る」という共助という意識が地域の防災力として欠かせないと言われています。

学校では年間11回の避難訓練を実施しています。避難訓練を行うことで、災害対策への意識を促し、地震や津波・火災が起こった時、どのように行動をすればよいのか子供たちに指導しています。「防災週間」は、ご家庭の災害グッズの確認や大地震があった際の集合場所の確認などをお子さんと一緒にしていただく良い機会です。学校と家庭・地域が連携して、自助や共助の意識を高めていければと思います。

9月の生活目標 「安全なくらしをしよう」

- *道順など登下校のルール・時刻を守ろう (登校8:15～8:25)
- *廊下や階段は右側通行を守り、静かに歩こう
- *安全な遊び方について考えよう

安全指導部 森 裕幸

10月の運動会に向けて各学年が休み時間等も含め忙しく活動する時期です。このような時こそ、けがをしないように落ち着いて学校生活を送っていただけるよう指導します。また校内に限らず、登下校のルールや公園等での遊び方等、再度確認し、安全な生活が送れるよう指導します。

道徳授業地区公開講座 9月8日(土)

特別の教科道徳～これまでの道徳とこれからの道徳～

道徳部 荒井 聡子

家庭、学校及び地域社会が連携し、子供たちの豊かな心を育むことを目的として、東京都の公立学校では、毎年道徳授業地区公開講座を実施しています。

本校でも全学級の道徳の授業公開と講演会を行います。各教室前に参観の視点を示した略案を用意します。ご家庭でお子さんと授業を振り返っていただけると幸いです。また、4校時は、大田区教育委員会より中治謙一指導主事をお招きし「特別の教科道徳～これまでの道徳とこれからの道徳～」というテーマで講演会を行います。ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。

なつやすみにがんばったこと

1年生



- ぼくは、らじおたいそうで、はやおきをがんばりました。(M.H)
- ぼくは、おふろでかおをつけるれんしゅうをしたら、かおをつけられるようになりました。(M.A)
- わたしは、ぶうるでもぐってみたら、ぶうるのかべをたっちできました。(K.F)
- ぼくは、おうちでのおてつだいをたくさんがんばりました。(N.K)
- わたしは、なわとびを10かいとべるようにがんばりました。(M.H)
- ぼくは、がっこうのぶうるにいて、もぐれるようになりました。(Y.T)
- べんきょうをがんばりました。ひらがなの『あ』のぼらんすがむずかしかったです。(K.R)
- あさがおのせわをがんばりました。あさがおがいっぱいさきました。(H.U)
- じゅうけんきゅうをがんばりました。こまかくきるところがむずかしかったです。(T.S)
- いもうとのおせわをたくさんするようになりました。これからもがんばります。(I.R)
- わたしは、にほんちずをつくるのをがんばりました。(A.A)
- ぼくは、かわぐちこで、ばれえぼうるをがんばりました。(H.R)
- わたしは、ごうぐるをつけないでクロールをがんばりました。とてもくろうしました。(O.Y)